



帯広畜産大学

Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

財務レポート2019



～ 2018（平成30）年事業年度決算より～

目次



1. 基礎データ	・・・	P.1
2. 財務情報	・・・	P.2-3
3. 事業実施の状況	・・・	P.4
4. 三大学経営統合の状況	・・・	P.5
5. 財務データ	・・・	P.6-9

1. 基礎データ ※2019(令和元)年度 現在

■ 学生数

1,385 人

【学部学生：1,175人 / 大学院生：172人 / 別科：38人】
(女子割合：約60%)

■ 外国人留学生数 (研究生・特別聴講学生除く)

68 人

【26か国】

■ 卒業者及び修了者

16,707 人

■ 教職員数

227 人

【役員：6人(非常勤含む) / 教員129人 / 職員92人】

■ 蔵書数 (視聴覚資料等含む)

226,119 冊(本)

■ 敷地面積

1,894,550 m²

【札幌ドーム 約34個分の広さ】



2. 財務情報 ※本項では、国立大学法人会計基準を「国大会計」と表記しています。

(1) 貸借対照表【B/S】

貸借対照表は、決算日（3月31日）における本学の財政状況を表しています。 (単位:百万円)

科目	2017年度	2018年度	増▲減	科目	2017年度	2018年度	増▲減
【資産の部】				【負債の部】			
I 固定資産	10,250	9,789	▲ 460	固定負債	2,398	2,339	▲ 59
有形固定資産	9,961	9,510	▲ 450	流動負債	1,192	1,292	99
無形固定資産	72	64	▲ 8	負債合計	3,591	3,631	40
投資その他の資産	215	214	▲ 1	【純資産の部】			
II 流動資産	1,248	1,412	163	I 資本金	4,462	4,461	▲ 1
現金及び預金	1,141	1,308	166	II 資本剰余金	3,002	2,606	▲ 395
その他の流動資産	106	103	▲ 2	III 利益剰余金	442	503	59
				純資産合計	7,907	7,570	▲ 336
資産合計	11,498	11,202	▲ 296	負債・純資産合計	11,498	11,202	▲ 296

※ 項目ごとに端数処理(切捨)しているため、計が合わないことがあります。

Point

資産の増加は、教育研究基盤の充実、管理コストの増加
主として、資産の減少は、教育研究基盤の老朽化、廃棄(管理コストの減少)を意味します。

30年度は…
(主な増減)

(+) **図書館改修**に係る建設仮勘定の計上
(-) 減価償却累計額の計上

(2) 損益計算書【P/L】

損益計算書は、事業年度内の本学の運営状況を表しています。 (単位:百万円)

科目	2017年度	2018年度	増▲減	科目	2017年度	2018年度	増▲減
経常費用	4,699	4,517	▲ 182	経常収益	4,792	4,577	▲ 214
臨時損失	0	3	2	臨時利益	0	3	2
当期総利益	92	59	▲ 32		-	-	-
合計	4,792	4,580	▲ 212	合計	4,792	4,580	▲ 212

※ 項目ごとに端数処理(切捨)しているため、計が合わないことがあります。

Point

経営努力により、5,998万円を目的積立金として、翌事業年度に繰越し

(3) 【B/S】と【P/L】から見える課題

国の厳しい財政事情の中、教育研究基盤の老朽化に対応するための国からの予算（施設整備の基本的な財源に位置づけられる施設費）が十分とは言い難く、施設・設備の安全面、機能面、維持管理経費の確保など、課題が生じています。

このため、多様な財源（自己収入、寄附の受入等）を確保して、施設・設備の整備に取り組んでいます。

【参考】 国大会計と企業会計の違い(国大会計の特徴)について

国大会計の特徴【B/S】関連（主な勘定科目でみる企業会計との相違点）

	企業会計	国大会計
資産	土地、建物、構築物、機械装置 など	土地、建物、構築物、機械装置 など
負債	未払金、借入金 など	未払金、借入金、 運営費交付金債務、授業料債務、預り施設費 など
純資産	資本金(株主出資) 資本剰余金 (資本準備金の取崩、株式売却差益等) など	資本金(政府出資) 資本剰余金 (施設費により整備した施設相当額 、政府出資資産売却差益等) など

大きな特徴 ①
運営費交付金や授業料などを、すぐに収益にせず、次の手順で計上していきます。

- 国民や学生等から求められている業務を行う負債(債務)として計上
※ 国大法人では、借入金ではなく、これらの債務が事業の主な元手となっています。
- 債務を履行したときに負債を取崩し、収益を計上(収益化といいます。)

例外

大きな特徴 ②
出資者である国等の判断で施設を整備(施設費による整備)を実施し債務を履行したときは、収益化せずに、資本剰余金にその相当額を計上します。

国大会計の特徴【P/L】関連（「損益均衡」の原則と利益発生仕組み）

収益化基準(=運営費交付金等に係る債務履行の判断基準)		※代表例※
	費用進行基準	期間進行基準
適用される債務	運営費交付金債務のうち、退職手当分やPCB処理費分 など	授業料債務 など
基本的な考え方	必要な費用が発生したとき(事業年度)に、債務を取崩し、その 費用と同額の収益を計上 します。	客観的に業務の進捗を測定することが困難なため、一定の期間が経過(1年間授業を実施したこと等)をもって、債務を取崩し、 債務と同額の収益を計上 します。
固定資産を購入した場合	減価償却費を計上したときに、債務を取崩し、その 減価償却費と同額の収益を計上 します。	

国大法人は、利益の追及を目的としていないため、損益が均衡するよう会計制度が設計されています。

費用と収益が同額となるため、利益が発生せず
 (「損益均衡」の原則)

国大法人の 実質的な利益

実質利益①
 経営努力によって、債務の額より費用を抑えることができれば、利益が発生(「損益均衡」の例外)

+

実質利益②
 ①のほか、経営努力によって、農畜産物収入などの雑益から、かかった費用を差し引いた分が利益

3. 事業実施の状況

【附属図書館】

2018(平成30)年度着工, 2019(令和元)年度リニューアルオープン

老朽化していた図書館の再生, 多様化する学習形態に対応可能なスペースの整備を行い, 令和元年7月にリニューアルオープンしました。

1階はICT環境を整備し, アクティブな学習を促す什器を揃えたラーニング・コモンズを設置。2階は個々の利用者が集中して学習することが可能な閲覧机や, 窓面に面したカウンターテーブルを設けました。

その他, 館内には大学キャンパスの自然を連想させる場所をつくり, 新書や文庫を配架したほか, テラス席も整備しました。

今後は, 学生の自律的な学習をサポートするとともに, 地域性を活かし, 開かれた図書館として, 地域コミュニティの拠点としての役割を果たすことを目指します。



ウィスコンシン大学マディソン校と初の合同プログラム実施

2018(平成30)年8月に, 初の試みとなる, ウィスコンシン大学マディソン校(以下, UW)との合同サマージョイントプログラムを開催しました。

このプログラムは, 学術交流協定大学であるUWと連携して実施しており, 9日間の日程の中, 北海道の土壌, 食品, 酪農, 農業経済に関する講義, 各関連施設見学の他, 道東方面への宿泊研修をこなし, 最終日には本プログラムの成果発表を行いました。



大学発ベンチャー企業「株式会社MIJ labo」設立

本学と一般社団法人ミート・イメージジャパンは, 2015(平成27)年度から実施してきた共同研究成果を実用化し, 畜産業の発展に貢献するため, 2018(平成30年)11月29日に帯広畜産大学発のベンチャー企業「株式会社MIJ labo」(エム・アイ・ジェイラボ)を設立し, 本学生命・食料科学研究部門の口田 圭吾教授が同社の取締役・最高責任者に就任しました。

「株式会社MIJ labo」は, 口田教授が他機関と共同で取得した特許を基盤とした「最新の画像解析技術を用いた肉質評価技術」と, 口田教授及び一般社団法人ミート・イメージジャパンが開発した日本初の「狭隘切開面対応型枝肉撮影用専用カメラ」を合わせて, 撮影・解析事業を行います。さらにクラウド技術及びAIを駆使したビジネスを展開する予定です。



4. 三大学経営統合の状況

北海道内国立大学法人の経営改革の推進

帯広畜産大学、小樽商科大学、北見工業大学は、北海道経済・産業の課題解決とその発展及び国際社会の繁栄に一層貢献するため、2018（平成30）年5月に経営改革に関する合意書を締結し、2022（令和4）年4月に経営統合することとしました。この経営改革により、三大学の経営機能・業務等を集約して合理化・効率化を推進するとともに、三大学の教育研究機能を充実します。

現在、文部科学省国立大学経営改革促進事業の採択を受け、①外部有識者参加の「経営改革推進会議」による新法人の経営体制等の検討、②文理融合・異分野融合の連携教育プログラム開発、③産学連携の「オープンイノベーション・センター」設置準備、④遠隔教育実施に向けた先端システムの開発等の取組について検討を進めています。



北海道内国立大学法人の経営改革の推進

北海道の現状 ■ 全国を上回るスピードで人口減少や高齢化が進行する「地域の存亡にかかわる状況」に直面



国立大学法人 小樽商科大学
 社会の各分野において指導的な役割を果たす人材育成、実践的ビジネス教育推進
 ・学生収容定員2,159人
 ・教員122人 事務職員等72人
 ・予算3,272百万円(運営費交付金1,428百万円)

国立大学法人 帯広畜産大学
 「食を支え、くらしを守る」人材の育成を通じて、地域及び国際社会に貢献
 ・学生収容定員1,246人
 ・教員129人 事務職員等90人
 ・予算4,797百万円(運営費交付金2,830百万円)

国立大学法人 北見工業大学
 基礎学力を有し、科学技術、地域社会、国際社会へ貢献できる人材育成を推進
 ・学生収容定員1,908人
 ・教員132人 事務職員等97人
 ・予算4,437百万円(運営費交付金2,475百万円)

令和4年4月に経営統合して新法人設立(経営組織と教学組織の機能分担)

経営改革ビジョン 社会に開かれた経営体制を構築し、社会のニーズに即して三大学の教育研究機能を強化することにより、北海道経済・産業の発展に貢献する。

法人の長・理事(役員) **国立大学法人 北海道連合大学機構(仮称)** 経営協議会

- 複数の役員は、経済界・産業界等から招聘
- 三大学の経営機能・業務の集約による合理化・効率化
- 経営協議会は、国立大学の多様なステークホルダーの意見を反映させる構成

【予算編成・配分】 【多様な財源確保】 【財務・法務・監査統括】 【外部資金を活用した資源の再配分】等

教学 **小樽商科大学** 学長(評議会)

教学 **帯広畜産大学** 学長(評議会)

教学 **北見工業大学** 学長(評議会)

文理融合

三大学の分野融合型教育システムの開発／三大学共同の産学連携体制の構築

農工連携

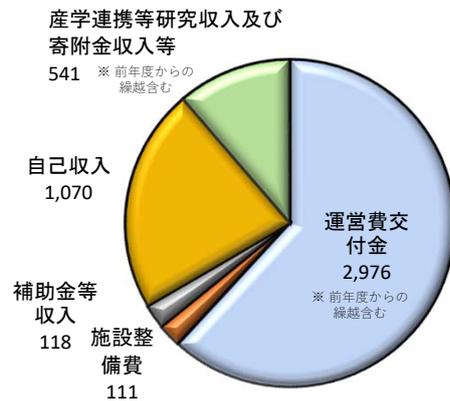
5. 財務データ

(1) 官庁会計<入出金ベース>で見る畜大 【2018(平成30)年度 決算報告書】

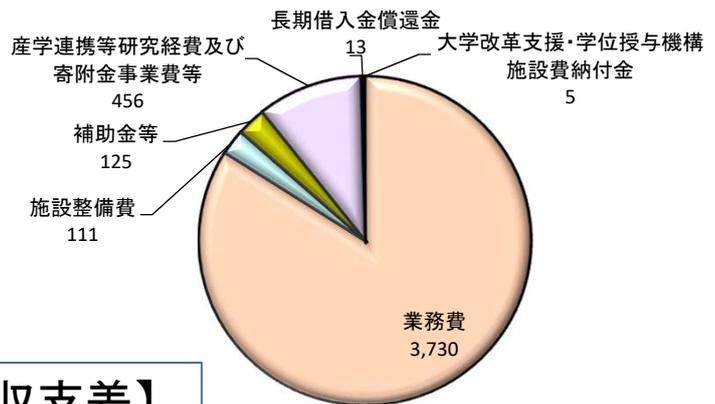
※ 項目ごとに端数処理(切捨)しているため、計が合わないことがあります。

(単位:百万円)

【収入】 4,819



【支出】 4,441

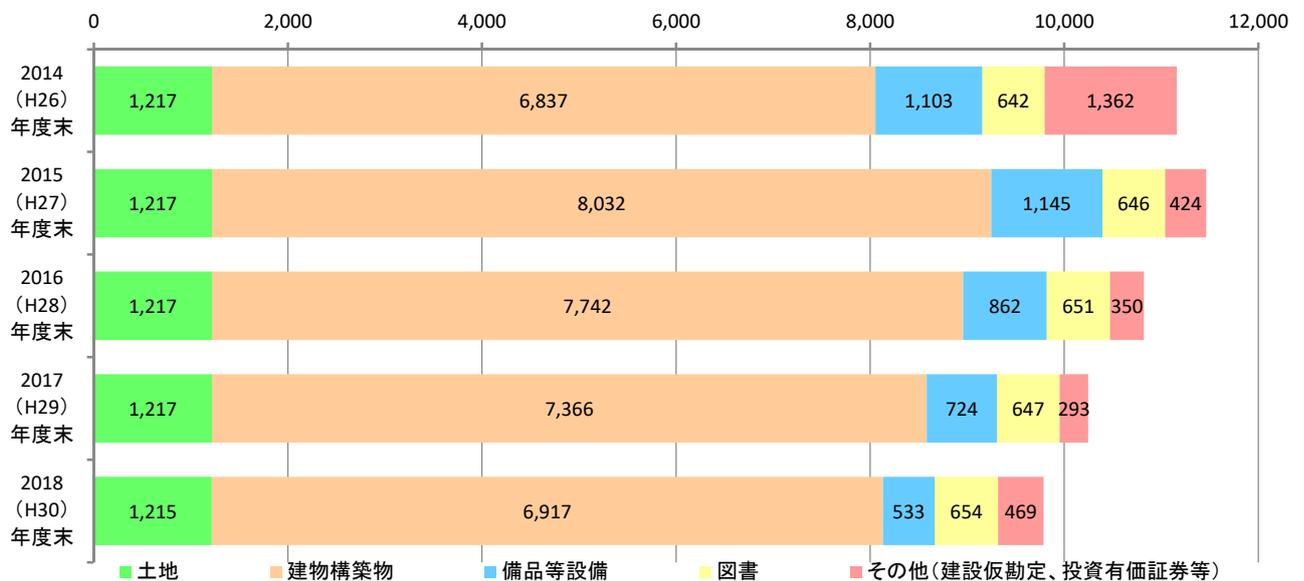


【収支差】
377

次年度への繰越分を考慮すると、**59百万円**が、**当期総利益**となります。

(2) 固定資産保有額の推移

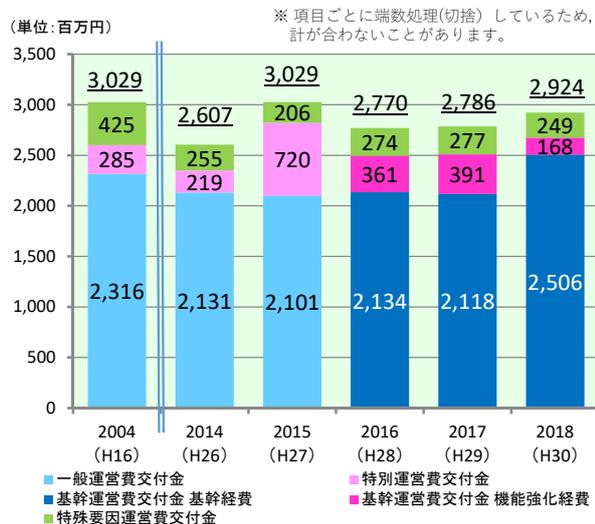
(単位:百万円)



2015(平成27)年度の施設整備(産業動物臨床施設の新営や講堂の改修)が完了して以降、高額な固定資産取得が減少したことや、減価償却累計額の増加により、固定資産保有額は減少傾向

(3) 運営資金額の推移

① 運営費交付金



基幹運営費交付金について、大学の機能強化に係る取組みが一定の評価を得て増加傾向

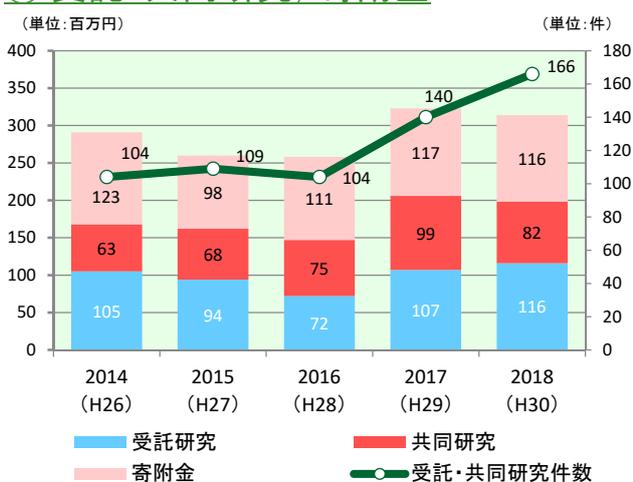
※ 2018 (平成30) 年度 機能強化経費の減少は、基幹経費への組み入れ

② 雑収入 ※財産処分収入含む



2018 (平成30) 年度は、動物医療センターにおける増収、土地処分 (帯広市へ売却) などにより、対前年度比で増収

③ 受託・共同研究, 寄附金



2016 (平成28) 年度以降、増加傾向にあるが、全体として、2018 (平成30) 年度は、対前年度比で減少

④ 研究者個人対象補助金受入

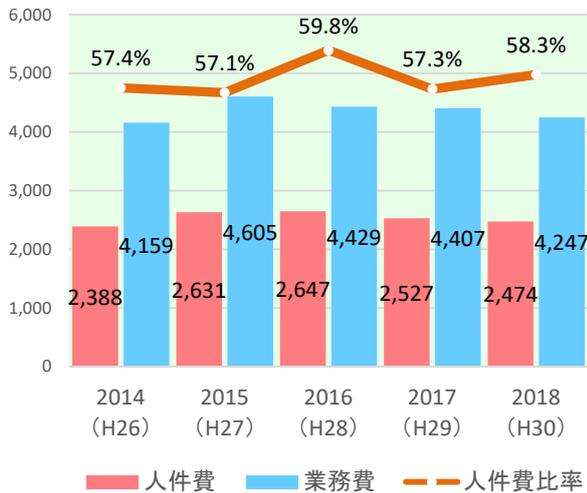


前年度まで減少傾向にあったが、過去5年では、受入額(合計)・件数ともに最高水準

(4) 財務指標の推移

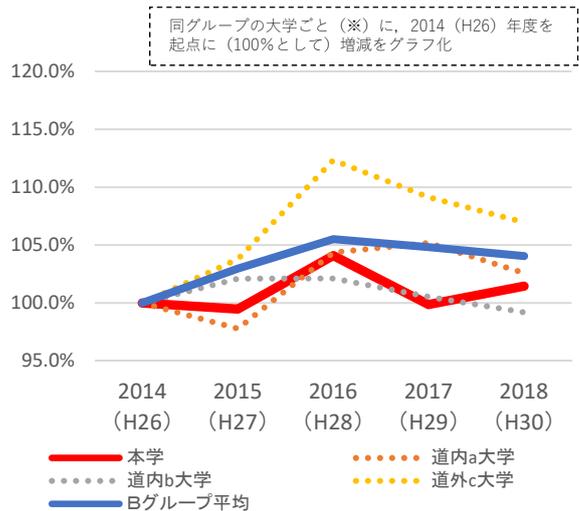
① 人件費比率(人件費÷業務費)

(単位:百万円)



(指標)

◆ 参考: 人件費比率の増減(他大学との比較)



人件費比率は、業務費に占める人件費の割合を示します。民間企業では比率が低いほど効率性が高いとされていますが、国立大学法人等における人材は教育、研究を生み出す資源であり、比率よりむしろその質が問われることとなります。

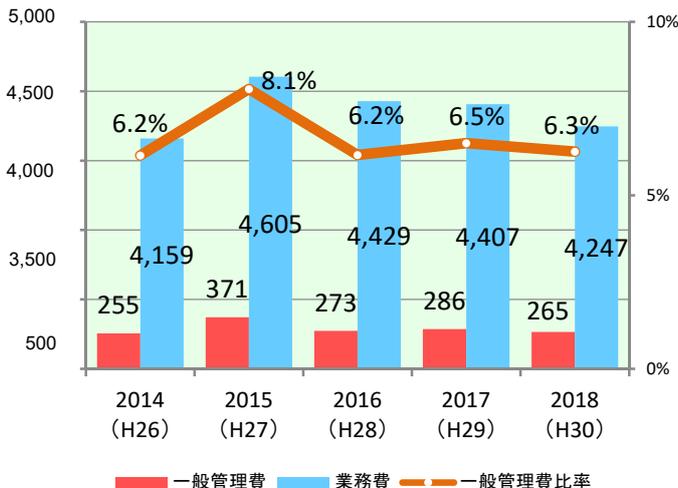
※ 文科省等では、財務分析上、国立大学法人をA~Hの8グループに分類

グラフでは、本学が属するBグループから道内大学・農学部を有する大学(3大学)をピックアップ

【Bグループ = 医学系学部を有さず、学生収容定員に占める理工系学生数が文系学生数の概ね2倍を上回る国立大学法人】

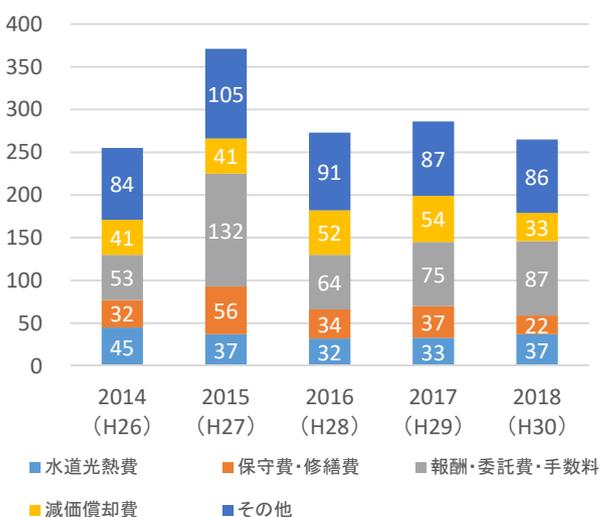
② 一般管理費比率(一般管理費÷業務費)

(単位:百万円)



(指標)

◆ 参考: 一般管理費の内訳



一般管理費比率は、業務費に対する一般管理費の比率を示しており、一般的には比率が低いほど国立大学法人等が管理運営を行う際の効率性が高いとされています。

③ 学生当教育経費



◆ 参考:人件費等を加算した場合

項目	金額(千円)
教育経費	733,320
教育研究支援経費(1/2)	137,351
教員人件費(1/2)	783,315
合 計	1,653,986
【改】2018(平成30)年度 学生当教育経費	1,256 (前年比 +1%)

学生当教育経費は、学生一人当たりの教育経費を示しており、国立大学法人等における教育活動の活発さを判断する一指標となります。

④ 教員当研究経費



◆ 参考:外部資金等を加算した場合

項目	金額(千円)
研究経費	447,950
教育研究支援経費(1/2)	137,351
受託研究費・共同研究費	176,119
合 計	761,420
【改】2018(平成30)年度 教員当研究経費	5,857 (前年比 ▲3%)

教員当研究経費は、教員一人当たりの研究経費を示しており、国立大学法人等の研究活動の活発さを判断する一指標となります。

財務データ集に関して、ご不明な点は、発行者までお問合せください。





【発行者】

国立大学法人 帯広畜産大学

＜お問合せ先＞

戦略企画課 決算係

Mail emm033@obihiro.ac.jp